

県南家畜衛生情報

2024
第97号
令和6年2月26日

- | | | |
|------------------|------------------------------|-------|
| 主
な
内
容 | ● 高病原性鳥インフルエンザ対策～消毒のポイント～ | ……2-3 |
| | ● 県内養豚場における流行性脳炎の発生について | ……4 |
| | ● ランピースキン病（国内未発生の牛の伝染病）に警戒を！ | ……5 |
| | ● 定期報告書を忘れずに提出しましょう！ | ……6 |



県南家畜保健衛生所長 より

日頃から家畜衛生の推進にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、春節の時期を迎え、農林水産省ではアフリカ豚熱の侵入防止に神経をとがらせています。水際対策の徹底はもとより、万が一の侵入に備えたまん延防止対策の体制整備に取り組んでいます。

高病原性鳥インフルエンザについては、今シーズン8県9事例71.3万羽の処分と昨シーズンよりかなり減少していますが、これから北帰行シーズンとなりますので、油断することなく、侵入防止対策の徹底をお願いいたします。

豚熱については、今月、栃木県で90例目の発生が確認されました。ワクチンによる防疫体制移行後も全国で散発し、野生イノシシでの確認も続いています。あらためて侵入防止対策の徹底をお願いします。

各生産者の皆様には、長期化する生産資材等の価格高騰や販売価格の低迷など厳しい経営環境が続いているものと思います。そのような環境においてこそ、各飼養動物のパフォーマンスがしっかりと発揮するように飼養管理することが大切です。鶏や豚など中小家畜では、ワクチン接種はプログラム化され、適宜見直しながら生産性の向上に取り組んでいます。牛についても、アカバネ病などの取り組みは見られるものの計画的なワクチン接種プログラムへの取り組みはまだまだ普及途上にあります。

下痢や呼吸器病など、ワクチン接種で防ぐことができる疾病については積極的に取り組んでください。

適切な飼養管理で家畜の健康を維持し、経営のパフォーマンス向上に繋がっていただくことを期待しています。

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東館 41-1

岩手県県南家畜保健衛生所

Tel 0197-23-3531 Fax 0197-23-3593

岩手県南家畜衛生推進協議会

Tel 0197-24-5532 Fax 0197-23-6988

高病原性鳥インフルエンザ対策～消毒のポイント～

中小家畜課 小家畜担当

高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の防除対策の基本は養鶏場に鳥インフルエンザウイルス（AIV）を侵入させないことであり、飼養衛生管理基準において「衛生管理区域の設定」、「同区域内及び鶏舎内に侵入する際の靴の履き替え、消毒の実施」、「野生動物による病原体の持ち込み防止」など AIV 侵入防止対策が定められています。

その中で、「消毒」は使用する消毒薬や方法などポイントを理解し実践しなければ十分な効果を得ることはできません。今回は HPAI を発生防止するための消毒のポイントについて解説します。

【効果的な消毒のポイント】

温度

濃度

pH

作用時間

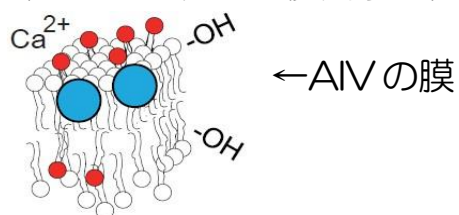
有機物

1 低温下で著しく消毒効果が減弱する

逆性石けんは、冬期間、低温になると著しく消毒効果が減弱します。

室温（25℃）では AIV は 30 秒間で 1000 分の 1 以下まで不活化されますが、2℃の条件では 1 時間を要したという報告があります。

低温下で使用する場合（HPAI 発生は冬…）は、**水酸化カルシウムを添加する**（アルカリ化して使用する）などが有効です。



アルカリ化とカルシウムイオンが作用することにより膜が変性しやすくなる
→逆性石けんの作用が増強

2 消毒薬ごとに適切なpH域がある

消毒薬ごとに適切な pH 域があり、他の消毒薬の混入等により pH が変化した場合、十分な効果が得られない場合があります。

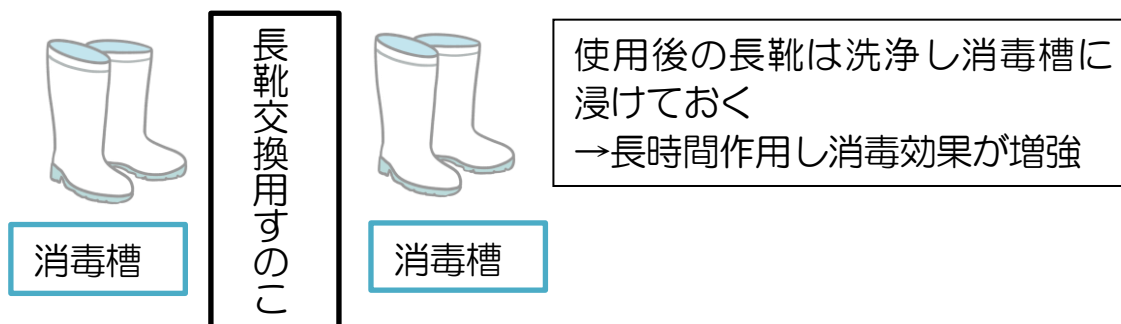
塩素系消毒薬などはアルカリ下で消毒効果が減弱するため、消石灰などアルカリ化する消毒薬が混入しないよう注意が必要です。

3 有機物存在下では消毒効果が減弱する

有機物（主に糞便）の存在下では消毒効果は減弱します。

靴等の踏み込み消毒では、事前の洗浄の徹底や消毒薬の頻繁な交換が重要です。交換していない踏み込み消毒槽は病原体を拡散させる可能性があります。

そのため、踏み込み消毒よりも、**長靴交換（交換後の靴は浸漬消毒）**が推奨されています。

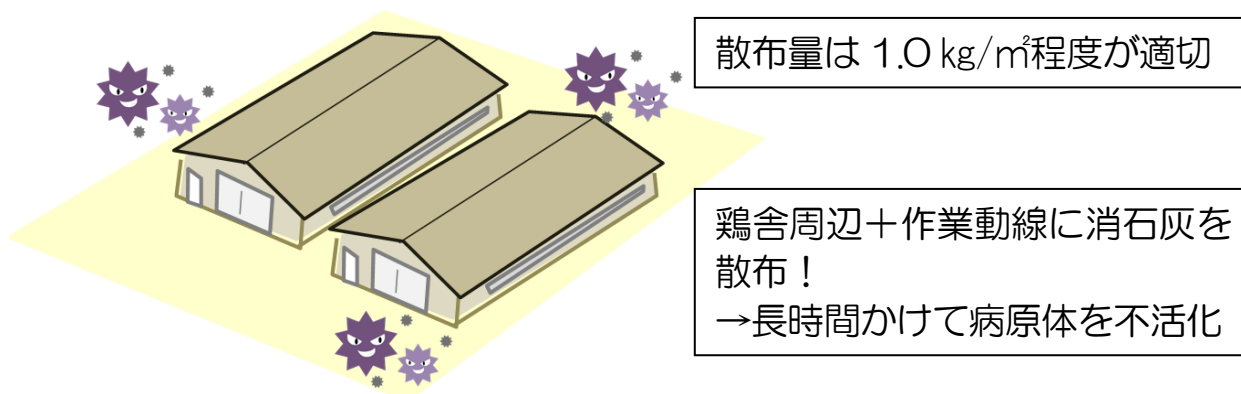


4 消石灰の性質について

消石灰は粉のままでは病原体に作用せず、対象の水分と反応しアルカリ化して消毒効果を示します。

粉体利用の場合、消毒効果を発揮するには長時間を有するため、農場内に散布し待ち受け消毒として利用することに適しています。

消石灰の消毒効果は、乾燥状態であれば長期間保持されますが、雨等により一度濡れた場合、消毒効果は失われます。つまり、降雨後は再度散布が必要です（2週間程度の間隔で散布）。



消毒薬について理解を深め、効果のある消毒を実施しましょう！

県内養豚場における流行性脳炎の発生について

中小家畜課 中家畜担当

発生概要

- ★ 令和6年1月、県北地域の1養豚場4頭で**日本脳炎ウイルスによる流行性脳炎が確認されました**（県内では昭和42年以降発生なし）
 - ・ 令和5年11月から12月にかけて死産が通常より多く発生した
 - ・ 日本脳炎ワクチンの接種は未実施であった
 - ・ 当該農場では、令和5年6～9月の4か月間で、最高気温27℃以上を記録する日が73日あった ※本病を媒介する蚊は27℃以上で活発に吸血する

表 全国の流行性脳炎の発生状況（過去5年）

年次	R1	R2	R3	R4	R5
発生県	熊本	愛知	-	愛知	栃木, 山形
戸数	1	1	-	1	2
頭数	1	2	-	1	4

山形県でも流行性脳炎が確認

東北も **きけん**

流行性脳炎

▶原因：蚊（コガタアカイエカ）の吸血時に日本脳炎ウイルスに感染

* 蚊の吸血活動が盛んになる春～秋にかけ、流行が起こる

▶症状（豚）

① 免疫のない妊娠豚に感染すると、**異常産**を起こす

* 異常産はその地域のウイルス流行開始から1～2か月後に発生

→8～11月が異常産の多発期

② 雄豚が感染すると、生殖器の炎症により造精機能が低下する

▶予防：**ワクチンが有効**（春～秋にかけて種付けを予定している母豚、種雄豚を対象に、蚊が活動する前に接種）

▶治療：有効な治療法はない



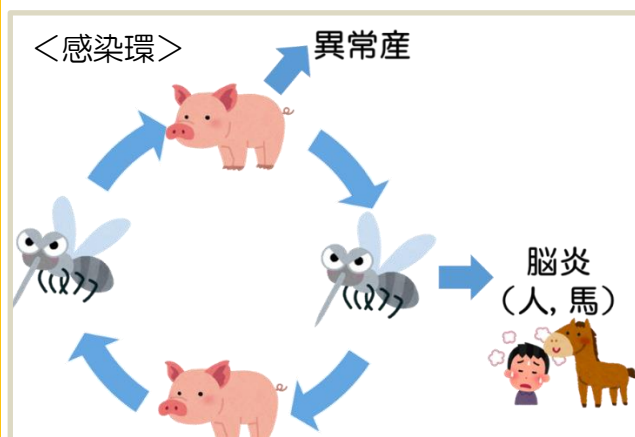
豚流産胎子（白子、黒子、ミイラ化）



神経症状を示す異常初生豚

参考：農研機構 動物衛生研究部門 HP

県南家畜衛生推進協議会において取扱いあり、1,200円/頭



流行開始時期までに、ワクチン接種により確実に

免疫をつけ、流行性脳炎による異常産を予防しましょう！

ランピースキン病（国内未発生の牛の伝染病）に警戒を！

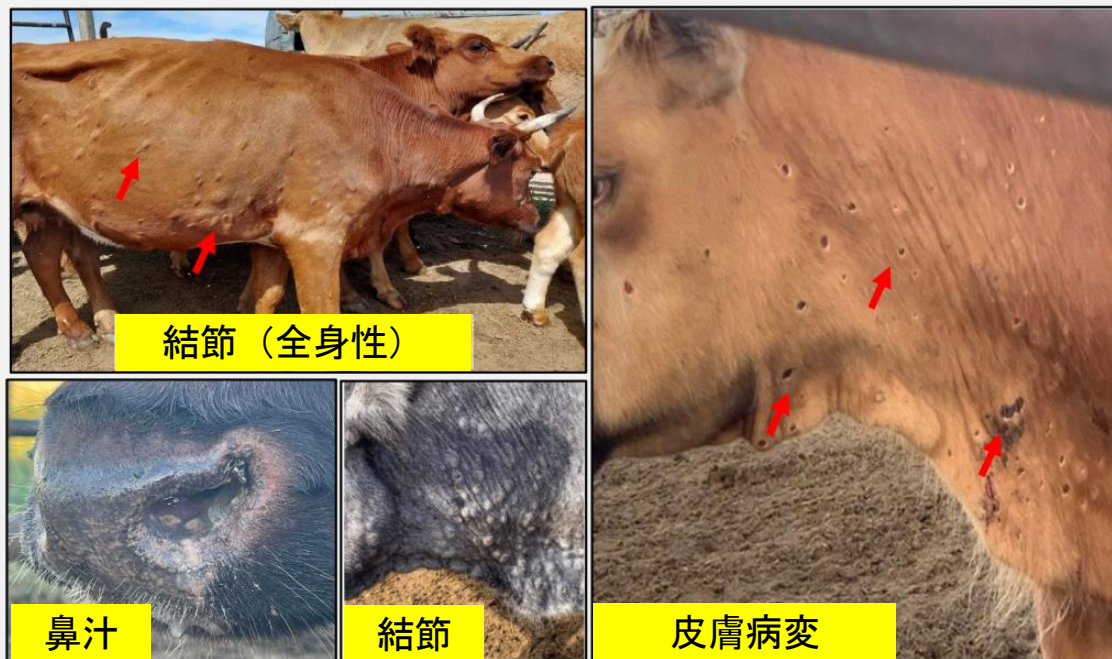
大家畜課 防疫担当

ランピースキン病はランピースキン病ウイルスによる牛や水牛の伝染病で、生産性に影響を及ぼします。日本での発生は確認されていませんが、令和元年以降、中国やモンゴル等の東アジアで発生がみられ、韓国では令和5年の初発生以降、全土に感染が拡大するなど、日本への侵入リスクが高まっています。

◎ 健康観察を毎日行いましょう！

もし、写真のような症状がある場合、直ちに獣医師または家畜保健衛生所（電話0197-23-3531）に連絡してください。

【症状】：皮膚の結節、発熱、鼻汁、泌乳量低下、リンパ節の腫大など



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

出典：農林水産省 HP ランピースキン病の侵入防止対策について（リーフレット）

- 感染動物：牛、水牛（人への感染はない）
- 伝播：蚊、ハエ、ダニによる機械的伝播
汚染された飼料、水、器具などを介した伝播
感染した牛の移動による伝播

◎ 農場への侵入を防ぎましょう！

- ・感染拡大に関わる害虫の駆除
- ・器具や畜舎の清掃・消毒の徹底

定期報告書を忘れずに提出しましょう！

大家畜課 衛生担当

今年も家畜伝染病予防法に基づき、定期報告書を提出いただく時期となりました。

家畜によって、期限や窓口が異なりますので、下表をご確認の上、御提出をお願いします。



	牛、馬、めん羊、山羊	豚	鶏
提出期限	4月15日		6月17日
提出窓口	① 県南家畜保健衛生所 (持参、郵送、FAX) ② 市町、JA、NOSAIの畜産担当 窓口へ持参 ③ 県南家畜市場の相談窓口へ持参	県南家畜保健衛生所 (持参、郵送、FAX)	
提出物	<p>2月1日時点の飼養状況を次の様式に記入。</p> <p>◆様式A「定期報告書」：変更がなくても必ず提出 氏名、住所、頭数、飼養衛生管理基準チェック表</p> <p>◆様式B「添付書類」：畜舎を新設した等、以前の報告と変更がある場合には提出 畜舎図面、消毒設備・埋却候補地等</p>		

【お知らせ・お願い】



「個人情報の取扱いに係る同意書」の提出をお願いします！

- 定期報告書については、次回（令和7年2月分）以降、インターネットにより作成・提出できるよう、国がシステムを開発しています。
- システム稼働に向け、県が定期報告書の記載内容を取り扱うために、報告者から「個人情報の取扱いに係る同意書」を提出いただく必要があります。
- 同意書の様式は、当所の提出窓口やホームページから入手できますので、内容を確認いただき、必要事項（年月日、農場名）を記入の上、定期報告書とともに提出窓口へ提出いただくようお願いします。

【HPアドレス】

<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/nougyou/desaki/kennan/index.html>